

2019年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証

FD委員会

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用した検証です。
各学科・研究科専攻の学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

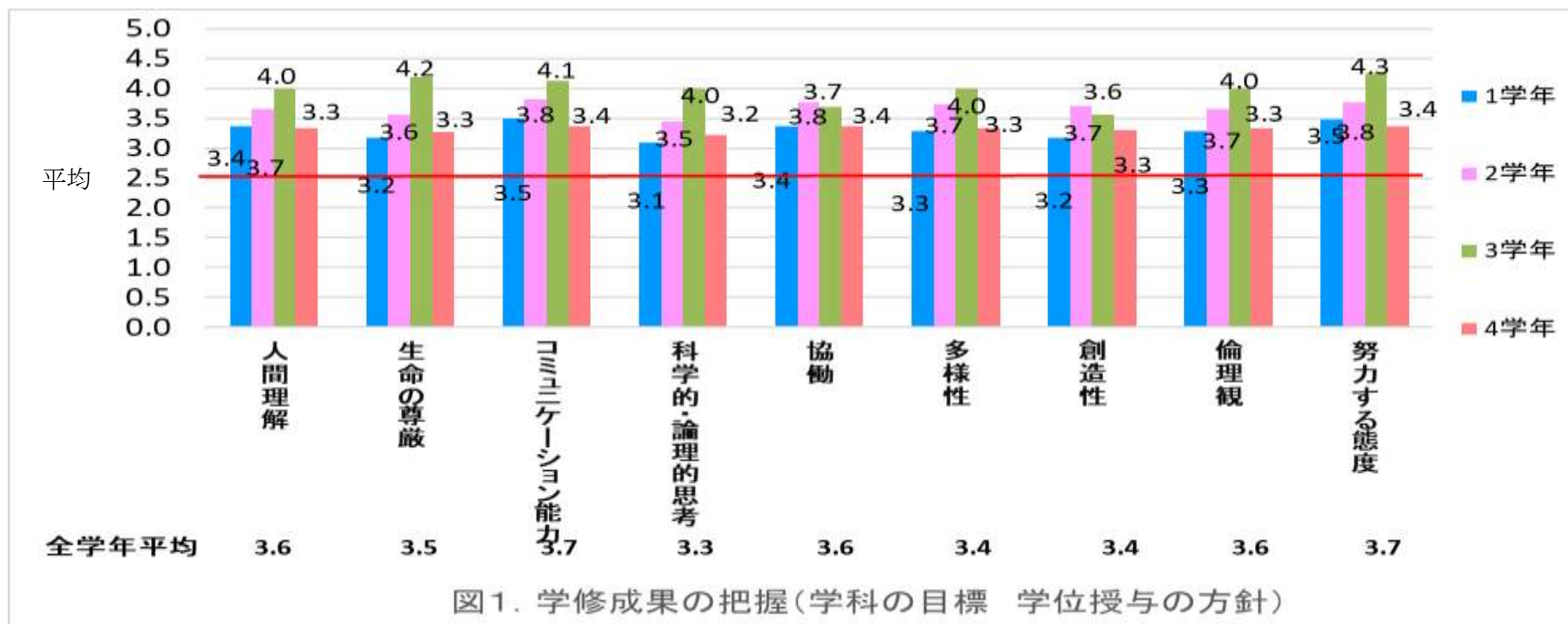
<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・ 研究科 専攻	検証の結果
社会福祉 学科	
福祉行政 学科	
福祉心理 学科	
産業福祉 マネジメ ント学科	
除法福祉 マネジメ ント学科	
教育学科	

2019 年度保健看護学科 学修成果の把握 報告書

I. 学修成果の把握 (学科の目標 学位授与の方針)

1. 各学年の分析対象数は、1 年生が 57 名 (63.3%)、2 年生が 60 名 (67.4%)、3 年生が 16 名 (20.5%)、4 年生が 33 名 (40.2%) であった。
2. 全学年を通して、全ての項目及び学年において平均 3.0 以上であった。
3. 全学年を通して、高得点の項目は、コミュニケーション能力(3.7)、努力する態度(3.7)、倫理観(3.6)、人間理解(3.6)、協働 (3.6) であった。低得点の項目は科学的・論理的思考(3.3)、多様性(3.4)、創造性(3.4)であった(図 1)。
4. 2 年生では全ての項目について 1 年生より高い得点をであった。これは基礎教育を経て看護の専門性の高い授業が増える中で、他者を理解し、仲間とコミュニケーションを取りながら協働し努力することの重要性を理解し実践出来ていると考えられる。協働・創造性の項目以外は学年が上がるにつれ得点が高くなっていった。4 年生が全体として低い点数を示したことは、自己評価の低さや回答時期によるものとする。教員は、評価が低い学年や項目について、授業や実習等の中で高めていけるように努力していくことが必要である。



リハビリ テーショ ン学科	
医療経営 管理学科	
総合福祉 学研究科 社会福祉 学専攻	
総合福祉 学研究科 福祉心理 学専攻	
教育学研 究科教育 学専攻	